

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	H.Y	学部・学科	国際教養学部・国際教養学科
学年	4年	派遣国	スペイン
派遣大学	ナバラ大学		
期間	2022年8月26日～2023年5月30日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / <u>アパート</u> / その他 ( )					
部屋	<u>個室</u> / 2人部屋 / 3人部屋 / その他 ( )					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所	◎
	キッチン	◎	冷暖房	○	冷蔵庫	◎
滞在費	約 ( 55,000 ) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	( 徒歩 ) で、約 ( 20~30 ) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	25,000円	外食は割高。
学用品購入費	2,000円	教科書(学期始まりのみ購入)、筆記用具など。
交通費	500円	バスで移動する場合。 旅行をすると高くなる。
交際費	5,000円	
その他	30,000円	衣類、雑貨、旅行費など。
<b>合計</b>	<b>62,500円</b>	*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

治安はかなり良い。夜、一人でも出歩ける。ホームレスはよく見かけるが、危害はない。

### 3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ( )		
加入期間	( 10 ) ヶ月間	保険料	( 約 120,000 ) 円

現地の国/大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称	ACUNSA		
加入期間	( 12 ) ヶ月間	保険料	( 約 100,000 ) 円

### 4. 滞在都市についての情報

滞在都市/町 ( **パンプローナ** )

スペインナバラ州の州都。マドリードから電車で約3時間半。バスでは5~6時間ほど。バルセロナも同様の時間。フランスとの国境に近く、フランスの海辺街、ビアリッツにはバスで、4時間ほどで行ける。

空港はパンプローナ空港があるが、便数が少ないため、ビルバオ空港やマドリード空港を利用する。

スペイン三大祭りである、サンフェルミン祭り(牛追い祭り)で有名である。また、アーネスト・ヘミングウェイの『日はまた昇る』の主な舞台として知られている。

## 【学業編】

### 1. 大学情報

大学	ナバラ大学	所在地	パンプローナ
最寄空港	パンプローナ空港	空港からの距離	7km
空港⇄大学	( バス、タクシー ) *移動手段		
学生数	13227 名	留学生数	4154 名
学部	法学部、教会法学部、神学部、哲学部、人文科学部、経済学・経営学部、工学部、 建築学部、医学部、薬学部  *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	法学部  *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① ( 9 )月～( 12 )月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	ゼミ			Modern World History	World Politics
午後	Español A2		Español A2 Modern World History	World Politics	

② ( 1 )月～( 5 )月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	ゼミ	Gramática conceptual intermedio		Gramática conceptual intermedio	
午後	Español B1.1 History of Spanish wine and gastronomy	Sociology	Español B1.1 History of Spanish wine and gastronomy	Sociology	

### 3. 履修内容

科目	Español A2		
履修期間	9月～12月	単位数	6
授業内容／形態	10人ほどの少人数クラス。グループワークやペアワークなどでスペイン語を学ぶ。文法が中心ではなく、コミュニケーションを重視している。		
成績	8.9/10		
YCU 振替予定	科目	特講（国際教養学部留学科目 A）	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Modern World History		
履修期間	9月～12月	単位数	6
授業内容／形態	大人数クラスで教授が講義を進めていく。プレゼンテーションや長めのエッセイ有り。		
成績	6.4/10		
YCU 振替予定	科目	欧米の歴史	
	単位数	2	
	担当教員	山根徹也	

科目	World Politics		
履修期間	9月～12月	単位数	6
授業内容／形態	大人数クラスで教授が講義を進めていく。グループプレゼンテーションと期末テスト、出席率が成績に反映する。		
成績	7.8/10		
YCU 振替予定	科目	グローバル政治論	
	単位数	2	
	担当教員	上村雄彦	

科目	Español B1.1		
履修期間	1月～5月	単位数	6
授業内容／形態	10人ほどの少人数クラス。グループワークやペアワークなどでスペイン語を学ぶ。文法が中心ではなく、コミュニケーションを重視している。		
成績			
YCU 振替予定	科目	専門外国語 A	
	単位数	2	
	担当教員	セグ・オリオル	

科目	Gramática conceptual intermedio		
履修期間	1月～5月	単位数	6
授業内容／形態	10人ほどの少人数クラス。グループワークやペアワークなどでスペイン語を学ぶ。文法だけを学ぶ座学の授業ではなく、双方向的な講義。		
成績			
YCU 振替予定	科目	特講（国際教養学部留学科目 B）	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	The Bussiness of Wine and Gastoronomy in Northern Spain		
履修期間	1月～5月	単位数	6
授業内容／形態	スペイン（特に北部）のワインや食事について学ぶ。グループワークが多く、ビジネスプランや独自のピンチョスを考え、ピンチョスコンテストをする。		
成績			
YCU 振替予定	科目	特講（国際教養学部留学科目 C）	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Sociology		
履修期間	1月～5月	単位数	6
授業内容／形態	大人数クラスで教授が講義を進める。5回のリーディングテストがある。ジェンダーや貧困、経済など社会問題を国際的な視点から学ぶ。		
成績			
YCU 振替予定	科目	社会学	
	単位数	2	
	担当教員	渡會知子	

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

イニシャル	HY	学部・学科	国際教養学部・国際教養学科
学年	3年	派遣国	スペイン
派遣大学	ナバラ大学		
期間	2022年 8月 26日～ 2023年 5月 30日		
プログラム	長期交換留学プログラム		

<留学先大学での履修内容>

科目	Español A2 (Comunicación y cultura)
講義内容	A2 レベルのスペイン語を習得する。文学や芸術、実践的なテキストを使用し、それらを読んだり、分析したりする。個人の活動もあるが、グループワークが多い。スペイン語の知識だけでなく、文化的な知識と理解力が身につけられる。
科目	Modern World History
講義内容	現代世界史を学ぶ。自由主義や第一次世界大戦、ロシア革命、第二次世界大戦について国際交流や政治に重点を置いている。国際問題を理解するために、国際的、外交的な観点から学ぶ。
科目	World Politics
講義内容	グローバル化が進む世界の国際交流や外交関係、政治状態、経済発展、文化的枠組みを学ぶ。
科目	Español B1. Inicial (Comunicación y cultura)
講義内容	B2 レベルのスペイン語を習得する。文章やリスニングなどのタスクを通して、スペイン語の口頭および記述でのコミュニケーションスキルを向上させる。また、スペイン語圏の文化を学ぶ。
科目	Gramática conceptual intermedio
講義内容	スペイン語 B1 レベルの文法を学ぶ。
科目	The Bussiness of Wine and Gastoronomy in Northern Spain
講義内容	スペインでワインや食べ物が人気な理由とその課題について学び、食品・ワインビジネスにおけるケーススタディを学ぶ。最後に、グループワークとしてそれぞれの事業計画を作成、発表する。

<b>科目</b>	Sociology
<b>講義内容</b>	貧困やジェンダー、格差社会などの社会問題をグローバルな視点から学ぶ。各国の事例や調査結果とともに学者の研究を学ぶ。

<総括>

(1) 全体的な感想                      \*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

約 10 ヶ月のスペインでの留学生活は日本では経験できないことが多く、とても刺激的でした。新しい文化や生活、言語、授業に慣れるまでは時間がかかりましたが、多くのことを学び、充実した留学生活になりました。

文化面では、日本と異なる点がたくさんありました。まずは、スペインの時間の流れはとてもゆっくりで人々ものんびりと過ごしています。朝食は 9 時ごろ、昼食は 14 時、夕食は 22 時と食事の時間が遅いことが特徴です。日本と食事の時間が違うので、スペインの時間に合わせると食事前にお腹が空いてしまうことが多かったのです。逆に日本の食事の時間にレストランなどに行くと空いているので、そこはとてもありがたい点でした。また、スペイン人がお昼からワインを飲んでいる光景がとても印象的でした。バルが街にいくつもあるのですが、どのバルも人で一杯一杯になるくらいスペイン人はお酒とお話しが大好きです。毎日とても賑やかでした。お昼は大体の人が職場から帰宅し、家で昼食をとり、シエスタ(昼寝)をしてから職場に戻っていました。人々の顔は明るくて、散歩とお話しが大好きで毎日楽しく生きている様子でした。

言語面では、英語とスペイン語の習得に励みました。スペイン語は初心者レベルだったので、留学初期はとても大変でしたが段々と聞き取れるようになり、自分の意思も伝えられるようになりました。スペイン語はとても早くまだ完璧には聞き取れないので、これからも学習を頑張りたいと思います。拙いスペイン語で話していても、頑張って理解してくれようとする人が多かったので救われました。英語は、大学の講義や友達との会話で使用していたので留学前よりかなり上達したと思います。英語力が下がらないように勉強を続けていきたいです。

スペインで生活していて印象に残ったのは、スペイン人は誰にでも構わず話しかけ、外国人だからといって線引きをしない点です。街を歩いているとよく道を聞かれることが多く、私もよくわからないので困ってしまうことが多かったのですが、それは外国人を疎外していないことを意味していると気づいた時は新しい発見でした。日本では、外国人に道を聞くことはなく、線引きをする人が多いと思うのですが、その点を改めようと感じました。

スペインでの留学生活を通して、広い視野を獲得することができたと思います。充実した 10 ヶ月でした。

(2) 今後の展望 \*この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400字以上)

英語とスペイン語の試験を多く受けることによって、英語とスペイン語の学習を続けていきたいです。英語力とスペイン語力を衰えさせないためにも、海外の方とのコミュニケーションを積極的に取っていきたいです。また、それを踏まえて日本にいる海外の方の支援をしたり、日本語を教えたりするなど、ボランティア的な活動ができればいいなと考えています。英語とスペイン語ができれば、可能性が広がるので他の人にはない個性を伸ばしていきたいです。

留学を通して、諸外国の発展している点や日本が見習うべき点などを多く発見しましたが、それに加えて日本の素晴らしさに改めて気づいたので、日本の文化や技術などを海外に伝えられる仕事に就きたいと考えています。また、日本の良さを海外の方に伝えるだけでなく、日本人にも再認識してもらえそうな活動もしたいと考えています。

スペイン人は人生を楽しく生きている印象があるので、それを見習って、毎日を楽しみ過ごしていきたいです。

(3) 後輩へのアドバイス \*留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400字以上)

何よりも語学力を伸ばしておくことが大事だと思います。ある程度話せるレベルであれば、実際に留学に行きコミュニケーションを取る際、躊躇わずに自信を持って会話ができます。交友関係を築く上でコミュニケーションはとても大事なため、語学力を伸ばすことが重要です。自信がなくてもとりあえず話しかけることが大切です。留学生の中でも英語が得意ではない人が多くいましたが、それでもみんな積極的に話していました。日本人は完璧に話そうとしますが、海外の人は完璧でなくてもとりあえず話していました。見習うべき点だと思います。

また、日本食を持っていくことをおすすめします。私は持っていかなくても現地のご飯を食べれば大丈夫だろう、と思って日本食は一つも持っていきませんでした。とても後悔しました。最初の半年間は日本食がなくても大丈夫でしたが、お正月を超えてから日本食がとても恋しくなりました。現地でも日本食を購入することはできるのですが、やはり値段が高いため日本から持っていくことをおすすめします。特に出汁がおすすめです。